

KVVK 浄水器専用シリアルバー式シャワー付混合栓 取扱説明書1

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、**「分解除止」**の内容です
この絵表示は、**「接触禁止」**の内容です
この絵表示は、**「必ず実行していただく」**の内容です

やけど、漏水をした場合の処置
漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p>禁止</p>
<p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>やけど・けがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p>分解禁止</p>	<p>器具は熱くなっているため直接肌を触れないでください。</p> <p>禁止</p>
<p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>キヤベネット内の湯側配管は熱くなっているため直接肌を触れないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>温水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうかを確かめてください。</p> <p>禁止</p>	<p>温水がぬれないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p> <p>注意</p>

1 ページ

404569-01 (R) (07)

KVVK 浄水器専用シリアルバー式シャワー付混合栓 施工説明書1

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、**「必ず実行していただく」**の内容です
この絵表示は、**「強制」**の内容です

<p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p>
<p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをする場合があります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p> <p>禁止</p>	<p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>器具が破損し、やけど、漏水のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないことまで水圧変動をおさまたけ設備としてください。</p> <p>禁止</p>	<p>シャワーヘッドの浄水出口は清潔を保つため、汚れた手で触らないでください。</p> <p>禁止</p>

<p>器具に強いカや衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>飲料水に適さない水が流出し、体調を損なうおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
--	--	---

1 ページ

<p>レバーハンドルの位置で湯温を確かめた後、吐水してください。</p> <p>注意</p>	<p>湯をお使いになるときは、必ずレバーを水側にしてから開栓してください。その後徐々に湯温を調節してください。お好みの温度に調節してください。</p> <p>注意</p>	<p>高温の湯を使ったあと、しばらく水を流してください。</p> <p>注意</p>
---	--	---

<p>確かめないで高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p> <p>注意</p>	<p>湯温が安定してからしばらく吐水させないと、温度変化によりやけどをするおそれがあります。</p> <p>注意</p>	<p>湯温が安定してからしばらく吐水させないと、温度変化によりやけどをするおそれがあります。</p> <p>注意</p>
--	---	---

<p>本体の開口部へ直接湯水をかけないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>レバーハンドル操作の急閉止は、配管からの湯水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p>注意</p>	<p>急閉めると「ドボン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>注意</p>
<p>凍結を防止しないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>注意</p>	<p>必ず当社専用浄水器用カートリッジをご使用ください。</p> <p>専用用品</p>	<p>他のカートリッジを使用すると、本来の性能が得られなかったり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>注意</p>
<p>けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p> <p>注意</p>	<p>凍結が予想される際は、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。</p> <p>注意</p>	<p>水道水および飲用可能な井戸水以外の水を使用すると、故障や水漏れの原因になります。体調を損なうおそれがあります。</p> <p>注意</p>

2 ページ

<p>配管接続部をテーパー部に接続しないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>テーパー部に接続すると、接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p> <p>注意</p>
<p>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p>禁止</p>	<p>小型電気温水器(即湯器)等に給湯ホースを接続する際は、ステンレスリキ管等を介してください。</p> <p>注意</p>	<p>水道水および飲用可能な井戸水以外の水を使用すると、故障や水漏れの原因になります。体調を損なうおそれがあります。</p> <p>注意</p>

取り付け前に

- ① 使用水圧 (A= (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+0.10MPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ
 - ① レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が濡火しない場合があります。
 - ② 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧にするようにしてください。
 - ③ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
 - ④ 給水圧力が0.75MPaを超えたときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
 - ⑤ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃以下の設定をおすすめします。
 - ⑥ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
 - ⑦ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選び、適正な吐水量および吐水温度が得られないことがあります。
 - ⑧ 本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
 - ⑨ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

故障かなと思ったら...

修理を依頼される前にお確かめください。 **取扱説明書「故障かなと思ったら…」参照**

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVVK修理受付センターにご依頼ください。

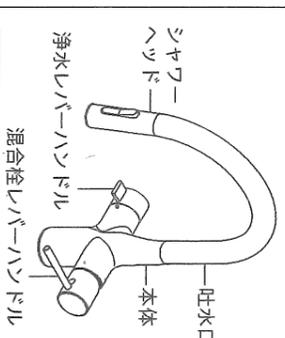
・メンテナンスは、本体を保持しながら行ってください。

・シャワーヘッドや吐水口やレバーハンドルを持ってははずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

2 ページ

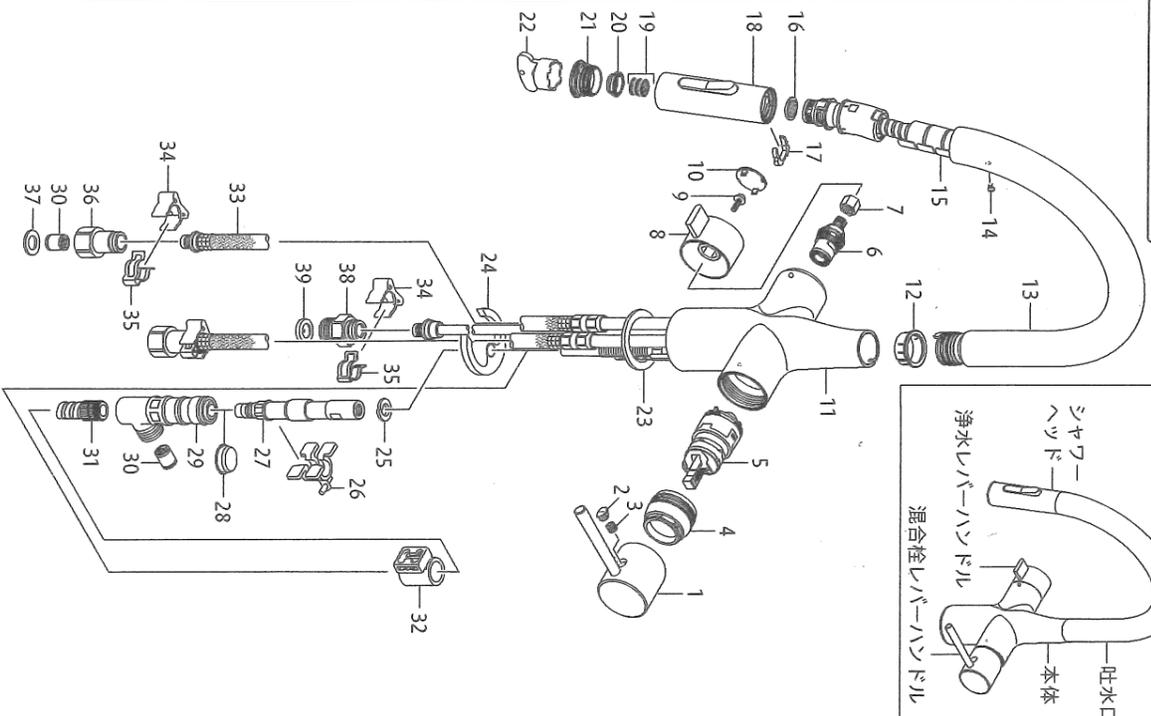
取り付け完成図と各部の名称 / 分解図

取り付け完成図と各部の名称



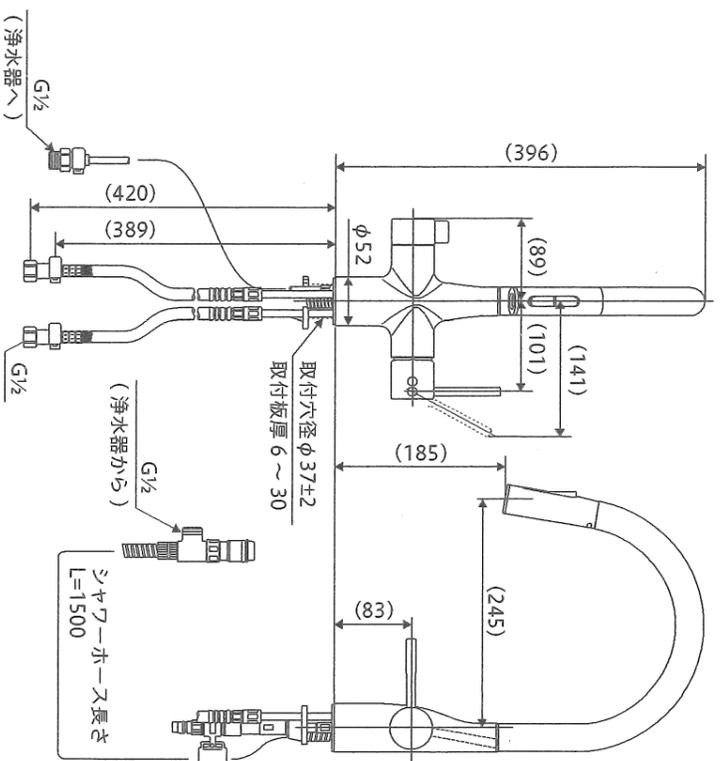
分解図
 この分解図は製品説明図であり、サービスマンによる分解作業を示すものではありません。

1	混合栓レバーハンドル
2	キヤップ
3	六角穴付き止めねじ
4	固定ナット
5	カートリッジ
6	カートリッジ
7	ハンドル金具
8	浄水レバーハンドル
9	ねじ
10	キヤップ
11	本体
12	パイプスベーター
13	吐水口
14	小ねじ
15	ホースガイド
16	ストレーナ
17	クリップ
18	シャワーヘッド
19	ストレーナ
20	シャワーフエイス
21	整流フエイス
22	取りはずし工具
23	シートパッキン
24	馬蹄座金
25	ばね座金
26	ホースガイドA
27	フラグ
28	キヤップ
29	カラークユニット
30	逆止弁
31	シャワーホース
32	ホースガイドB
33	フレッドホース
34	保護キヤップ
35	クランプアスナー
36	ジョイント
37	パッキン
38	ジョイント
39	減圧ブツシュ



3 ページ

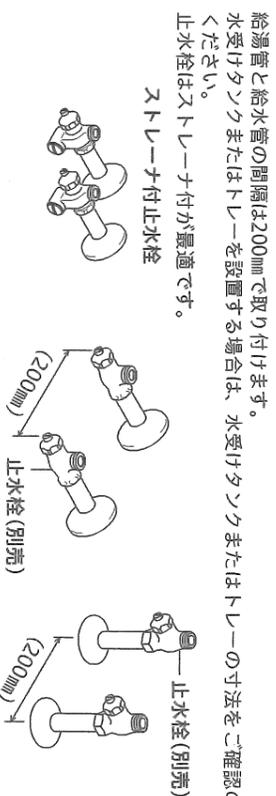
寸法図



取り付け手順 1

1 給水管内の清掃
 配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 止水栓(別売)の取り付け
 給湯管と給水管の間隔は200mmで取り付けます。水受けタンクまたはトイレを設置する場合は、水受けタンクまたはトイレの寸法をご確認の上取り付けください。



4 ページ

取り付け手順 2

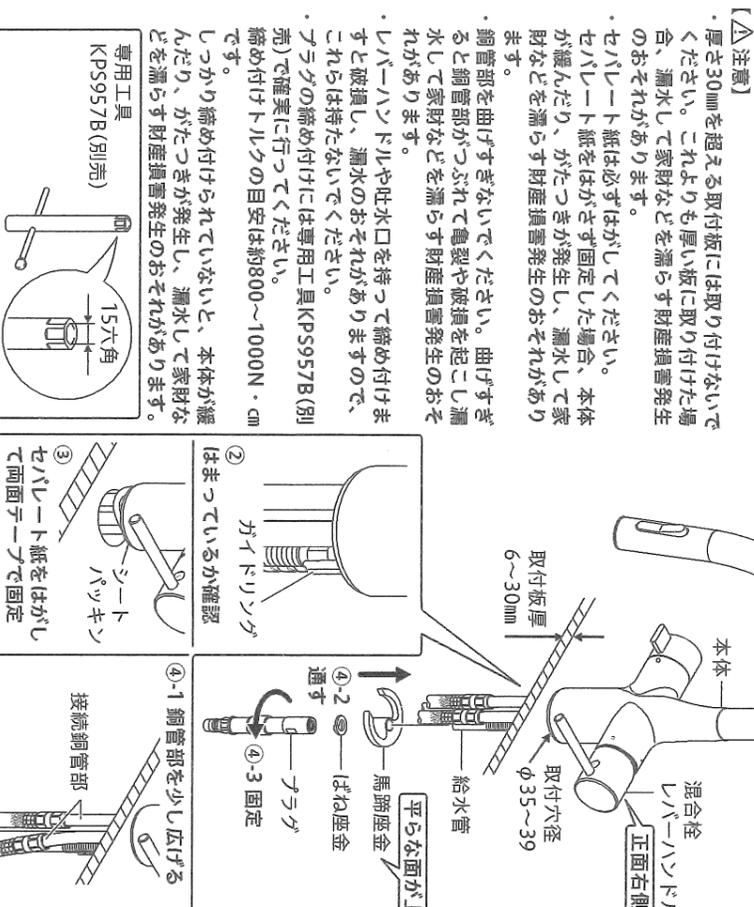
3 本体の取り付け

取り付け位置によっては吐水口先端がシンクから飛び出す場合があります。(施工例1)
 正面位置をシンク内側へずらして調整することは可能です。(施工例2)
 位置調整は、フレッドホースが施工できる範囲で行ってください。



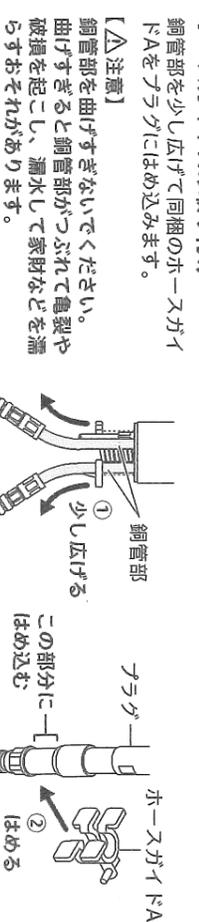
4 本体の固定

① 本体からフラグ、ばね座金、馬蹄座金を取りはずします。
 ② 本体にガイドリッジを取り付けてください。
 ③ 取り付け穴周囲の汚れを取り除いたあと、本体に貼り付けてください。
 ④ フレッドホースの接続銅管部を少し広げ、給水管に平らな面を上に向けた馬蹄座金とばね座金を通して、フラグにて固定します。
【△注意】
 ・厚さ30mmを超える取付板には取り付けられないでください。これよりも厚い板に取り付けた場合、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 ・セパレート紙は必ずはがしてください。
 ・セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が濡れたり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 ・銅管部を曲げすぎないでください。曲げすぎると銅管部がつぶれて亀裂や破損を起し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 ・レバーハンドルや吐水口を持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。
 ・フラグの締め付けには専用工具KPS957B(別売)で確実に行ってください。
 ・締め付けトルクの目安は約800~1000N・cmです。



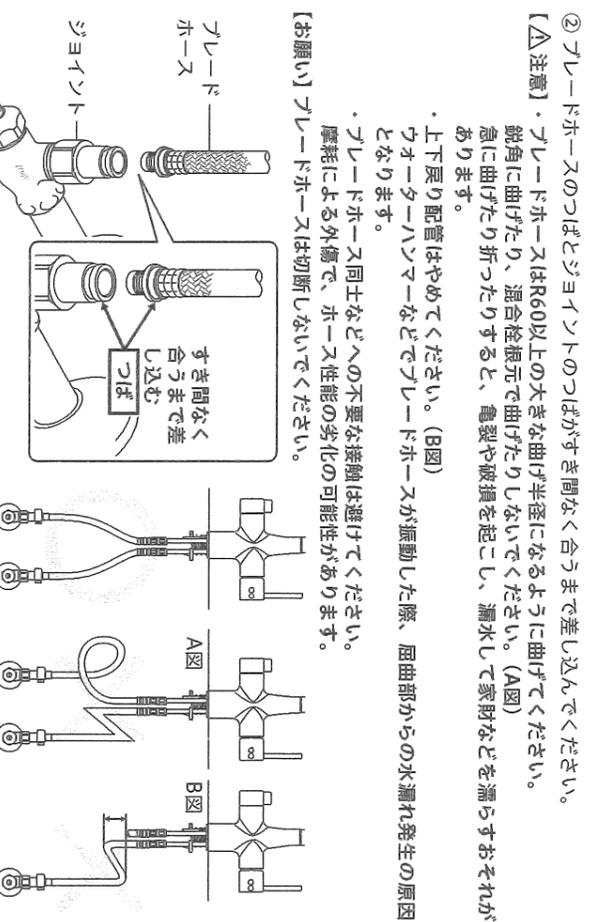
5 ページ

5 ホースガイドAの取り付け
 銅管部を少し広げて同粗のホースガイドAをフラグにはめ込みます。



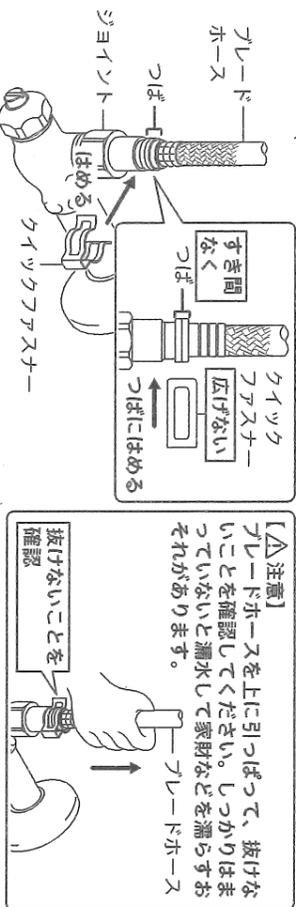
6-1 止水栓との接続

① ジョイントを止水栓に接続します。
【△注意】
 ・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
 ・締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水の原因となります。
 ・薄肉の接続管(ニツル等)にはジョイントを接続しないでください。
 ・スパナが切れ、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 ・止水栓がしっかりと固定されていることを確認してください。固定されていないとフレッドホースが抜け、漏水の原因となります。
 ② フレッドホースのつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。
【△注意】
 ・フレッドホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起し、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
 ・上下戻り配管はやめてください。(B図)
 ・ウオーターハンマーなどでフレッドホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
 ・フレッドホース同士などへの不要な接触は避けてください。摩擦による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。
【お願い】 フレッドホースは切断しないでください。

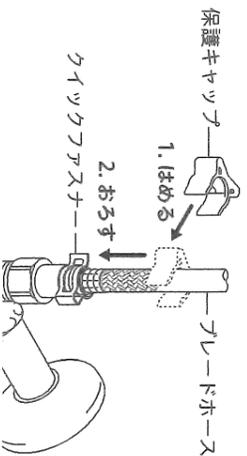


6 ページ

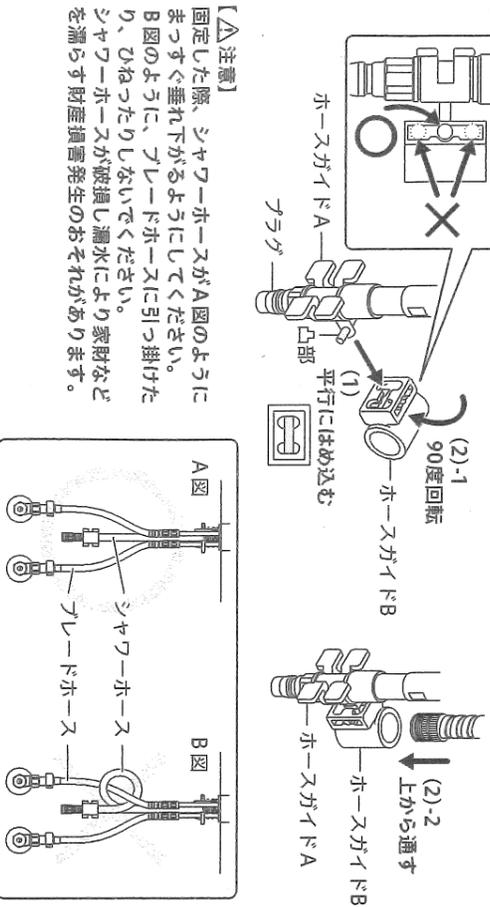
7² クレイックフラスナーをグレートホースとジョイントのつばにはめます。



④ クレイックフラスナーに保護キャップをはめます。
この時、保護キャップはグレートホースにはめてから、クレイックフラスナーまでおろします。

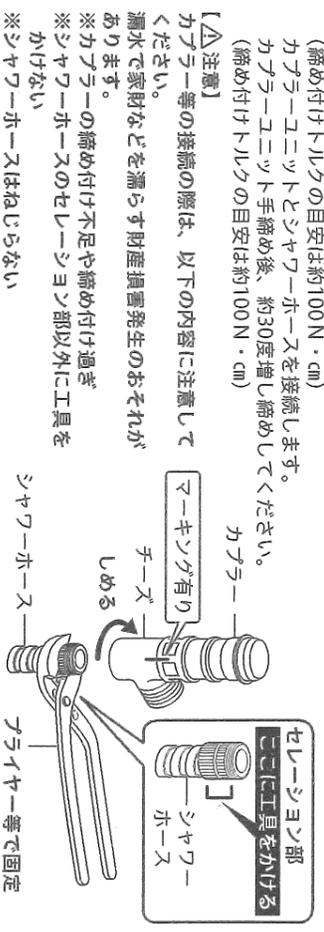


7¹ カアラージュユニットの取り付け
① (1) 同細のホースガイドBをホースガイドAの凸部と平行になるように、ホースガイドAにはめます。
(2) ホースガイドBを90度回転させ、シャワーホースを上から通します。

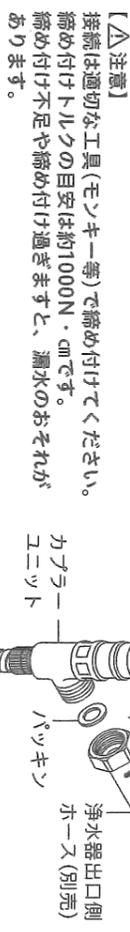


7 ページ

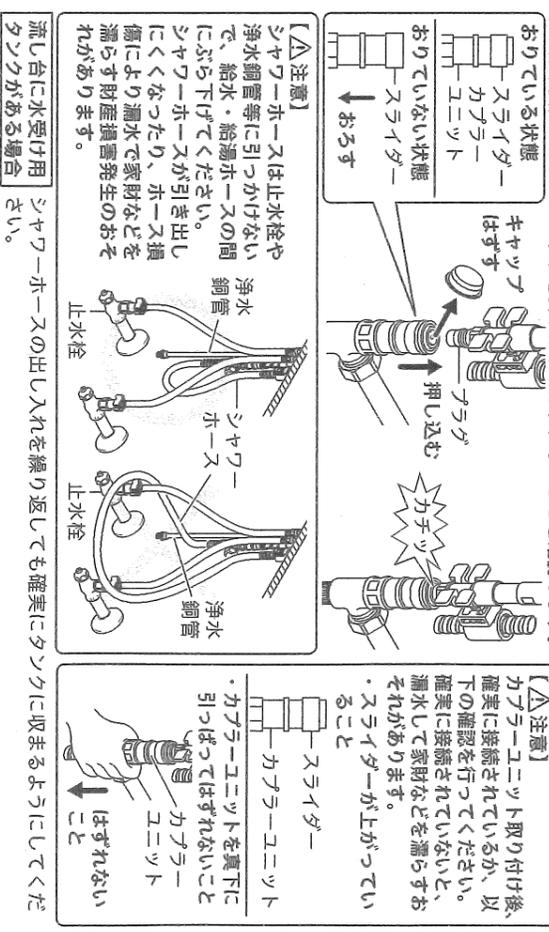
7² チーズとカアラージュの接続が緩んでいないか確認してください。(確認用の赤色ケーシング有り)
緩んでいる場合はカアラージュ手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)
カアラージュユニットとシャワーホースを接続します。
カアラージュユニット手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)



8 浄水器出口側ホース(別売)との接続
カアラージュユニットに浄水器出口側ホースを接続します。



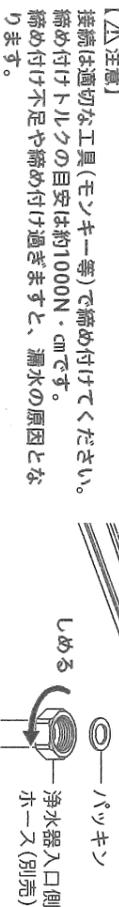
9 シャワーホースの接続
カアラージュユニットのキャップをはずし、スライダを下におろしてから、本体のプラグハカチツと音がするまで押し込みます。(スライダがずれている場合もあります)
取り付け後、カアラージュユニットを引っぱってはずれないことを確認します。
おりにいる状態
スライダ
カアラージュユニット
おりにいない状態
スライダ
おろす



8 ページ

10 浄水器入口側ホース(別売)との接続

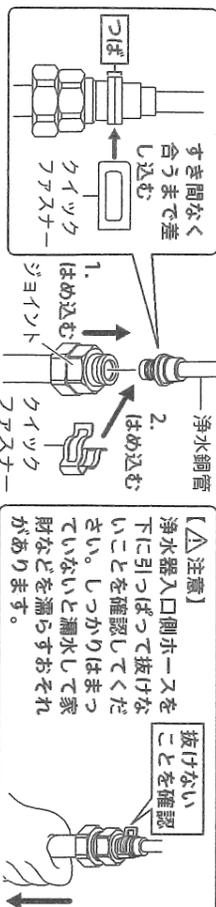
① ジョイントに浄水器入口側ホースを接続します。
その際、ジョイントをモンキー等で固定し締め付けてください。



【△注意】
接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水の原因となります。



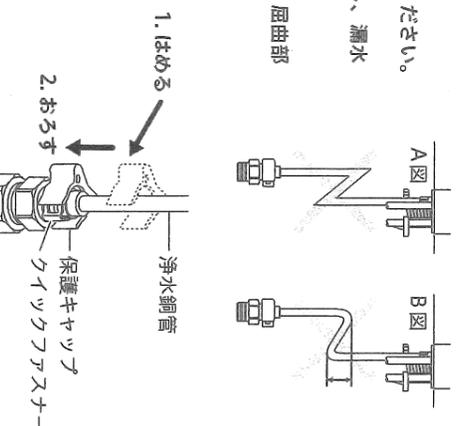
② ジョイントを浄水銅管にはめ込み、クイックフラスナーを浄水銅管とジョイントのつばにはめます。
浄水銅管のつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。



【△注意】
浄水銅管はなるべくゆるやかに曲げてください。
鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。
(A図)
急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起し、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

・上下戻り配管はやめてください。(B図)
・ウオーターハンマーなどで浄水銅管が振動した際、屈曲部から水漏れ発生の原因となります。
・浄水銅管は切らないでください。

③ クイックフラスナーに保護キャップをはめます。
この時、保護キャップは浄水銅管にはめてから、クイックフラスナーまでおろします。



11 浄水器との接続
浄水器セットの施工説明書を参照してください。

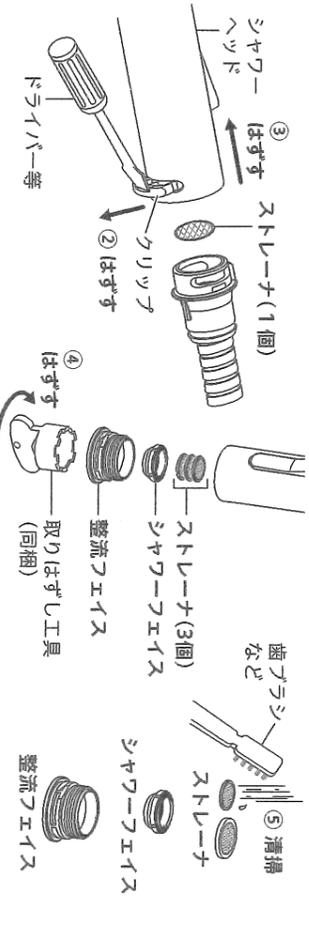
9 ページ

通水確認

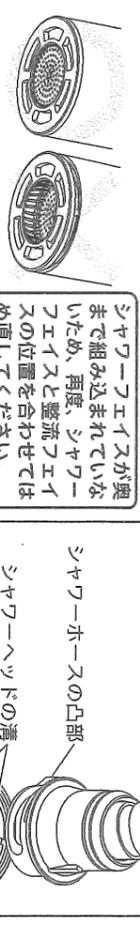
【△注意】水栓を取り付け後、通水して漏水の出し止めを5~6回繰り返して、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。
確認しないと、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーフエイス・整流フエイス・ストレーナ清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフエイス・整流フエイス・ストレーナにゴミ等がたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。
① 湯水全開で20~30秒吐水させます。
② プライマー等でクイックフラスナーをはずします。
③ シャワーヘッドをはずし、ストレーナ(1個)を取りはずします。
④ 同細の工具で整流フエイスをはずして、シャワーフエイス・ストレーナ(3個)を取りはずします。
⑤ シャワーフエイス・整流フエイス・ストレーナをブラシで水洗いします。



【清掃後の組み立て】
清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。
・整流フエイスを締め込む時は、止まるまで締め込んでください。(約3回転程)
・組み立て後、シャワーフエイスが下図のように取り付けられていることを確認してください。



【お買い】
止まるまで締め込んだら、それ以上締め込まないでください。
破損するおそれがあります。締め付け不足の場合、漏水や切換不良の原因になります。

止水栓による流量の調節方法

止水栓による流量の調節方法は下記の方法で行ってください。
混合栓レバーハンドルのクイック手前で適量(湯割・水側それが5L/min程度)になるように止水弁を調節します。水圧が低く、クイック手前で適量が得られない場合は、止水弁を全開にしてください。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

10 ページ